

女川町の復興のシンボルとして「伝承の鐘」を贈呈 恵比寿麦酒祭りで販売した生ビール売上金より活用

サッポロホールディングス（株）は、（一社）女川町観光協会へ「きぼうの鐘プロジェクト（注1）」4基目となる「伝承の鐘」を贈呈しました。観光客で賑わう女川駅前プロムナード沿いハマテラス向かいに設置した1基目、女川町役場東日本大震災慰霊碑側に設置した2基目、女川湾を一望する女川町離島航路ターミナル脇に設置した3基目に続き、4基目は女川町海岸ふれあい広場内に設置しました。震災の風化防止と女川町の復興の象徴として、地域のみなさまの心よりどころとなることを願っています。

今回の贈呈は、サッポログループが恵比寿ガーデンプレイス（東京都渋谷区）で開催した「恵比寿麦酒祭り（注2）」で販売した生ビールの売上金相当額の一部より活用したものです。

サッポログループは、今後も東北復興支援の重点テーマとして「物産品の消費促進」、「情報発信」、「次世代育成」の3点を掲げ取り組んでいきます。

（注1）震災前、旧女川駅舎に設置されたカリヨン（からくり時計）には4つの鐘がついており、電車の発着を告げ、人々に親しまれていました。震災後のガレキの山から、女川駅にあったカリヨンの鐘が奇跡的に1つだけ完全な状態で見つかったことから、仮設商店街のシンボルとして展示され商店街の名称になりました。それぞれの鐘に完成順に「きぼうの鐘」「鎮魂（誓い）の鐘」「はじまりの鐘」「伝承の鐘」と名付けられました。

（注2）新型コロナウイルスの感染拡大防止のため2020年、2021年ともに開催中止となりました。2018年開催の同祭りで販売した生ビールの売上相当金額の一部を活用したものです。

記

1. 贈呈品

伝承の鐘

2. 贈呈先

（一社）女川町観光協会

3. 贈呈式

日程：2021年7月7日

会場：宮城県牡鹿郡女川町海岸通り4番地
女川町海岸広場「海岸ふれあい広場」



以上